

ニッシンイクス施工マニュアル

INORGA 編

1. ご使用に際して	P2
2. 商品仕様	P2
3. 取り扱い及び施工について	P3
4. 施工要領	P4
5. 施工手順	P4

施工前に必ずお読みください

NISSIN EX.

株式会社 ニッシンイクス
NISSIN EX. CO., LTD.

www.nissin-ex.co.jp

はじめに

この度は、弊社の製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

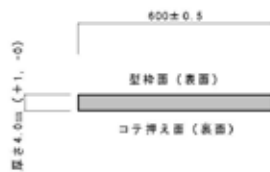
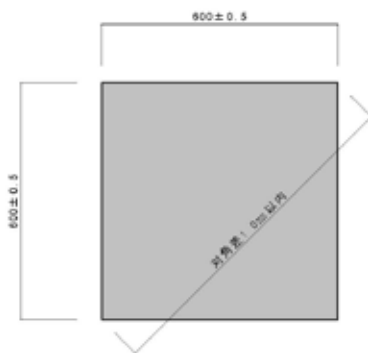
より長く・快適に製品をお使いいただけるよう、ご使用に際しての注意事項と施工マニュアルを設けました。

設計・工務店様はもとより、お施主様にも一読頂きますようお願いいたします。

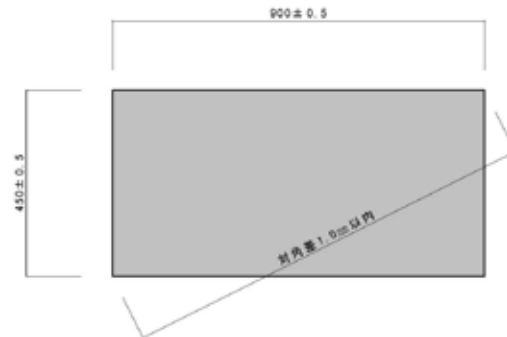
商品仕様

■ 商品詳細

商品名	不燃内装用化粧パネル「INORGA イノルガ」	
用途	室内壁内装仕上げ用	
一般名称	ガラス繊維強化セメント (Glass Fiber Reinforced Cement)	
規格寸法	4 * 600 * 600 または 4 * 450 * 900	
気乾比重	1.8 ~ 2.3	
製品目安重量	約 3.5kg ~ 4.5kg / 枚	
設計基準曲げ強度	≥ 10N / mm ² (公称 15N / mm ²)	
不燃材料	NM-8313	
ホルムアルデヒド	告示対象外 放射速度自主検査結果 < 1 μg / m ³ h	
VOC 放散速度	< 0.2 μg / m ³ h	
販売単位	ケース単位 (4 枚入り)	600 角 : 1.44 m ² / ケース
		450 * 900 : 1.62 m ² / ケース



サイズ : 600 × 600



サイズ : 900 × 450

取り扱い及び施工について

□ ご採用にあたってのご注意

商品の原材料と製法上、以下の特性がございます。ご採用、お見積り、ご発注にあたっては、この特性をご考慮の上、十分な数量でご検討ください。

- ・通常の施工に必要な強度はございますが、お取り扱いには慎重にお願いいたします。
落下、接触、不適切な持ち運び等により破損又は、ダメージを受ける場合があります。
また、施工後につきましても強い衝撃や器具等によるダメージが懸念される場所での使用はお控えいただくか、対策を十分にご検討ください。
- ・室内で3m以下の壁面に化粧材としてご使用ください。天井、床、曲面、複雑な面構成での使用はお控えください。
- ・1mm程度のカラ目地又は目地無しでご使用いただけますが、必ず壁際等のクリアランスを確保してください。また、目地幅が狭い場合は、寸法のばらつきや変形による目地の乱れや目違いが生じ、段差が目立ちやすくなり、手にも触れやすくなります。
- ・浴室等、常に水や湿気の影響を常に受ける場所での使用はお控えください。
- ・撥水性を高めるための処理は致しておりません。水や汚れのしみこみが懸念される場所での使用は、対策を十分にご検討ください。
- ・製品の断面には細かな欠けやガラス繊維が露出した箇所が生じます。



表面・裏面



目違い



ガラス繊維の露出部分

- ・厚みのばらつきや変形のあるものが含まれます。
- ・仕上げ面に白華、色むら、気泡、スクラッチ、細かな欠け等が含まれます。



白華



色むら



気泡



スクラッチ



欠け



- ・生産ロット及び製品個体ごとに仕上げ面の色の濃淡、色調、ツヤが異なります。



濃淡



色調



ツヤ



- ・施工後、時間経過とともに、白華や色の濃淡の変化、接着剤の成分移行による変色、隙間や目違いの増減が生じる場合があります。

施工要領

本製品の施工方法として以下の全面接着工法を推奨いたします。その他の工法での施工については製品の特性をご考慮の上、施工者様のご判断と責任のもとで行っていただくようお願いいたします。

適用下地

- ・たわみのない厚手の合板又はボード類を使用し、下地材メーカーの定める施工方法に基づき施工された、目違いや目地あきのない下地。
- ・平坦平滑に仕上げ 2～4 週間以上養生し、十分乾燥したモルタル下地。

接着剤

推奨：インテリアフレックス ダークグレー色（株式会社タイルメント）

又は同等の室内用変成シリコーン樹脂系接着剤（1 液反応硬化型無溶剤タイプ JIS A 5548 タイプ I 適合品）。

接着剤の塗布方法

下地全面への接着材塗布（クシ目立て 3 mm 以上）

切断方法

電動丸鋸、ディスクグラインダーでダイヤモンドカッターを使用。

施工手順

① 保管と取り扱い

商品が届きましたら荷姿に異常がないことを確認の上、お受け取りください。破損や変形、変色を防ぐため下記のご注意をお願いいたします。

- ・商品を荷山から動かす際や、施工作业中はオモテ面を擦らないようにしてください。
- ・商品を持ち運ぶ際は、たわまないよう立てて持ち、落下や強い衝撃などのないようご注意ください。



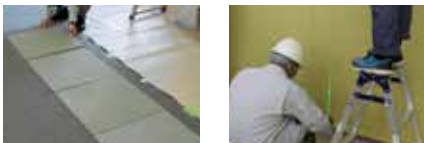
- ・商品を積置きする時は、湿気がこもらない日陰となる屋内で台木の上に敷板を乗せ、平置きしてください。
- ・商品を箱から出して積置きする場合は、最下部は敷板面と商品の裏面を合わせ、以降はオモテ面のゴミや異物を除去し、オモテ・オモテ、裏・裏合わせで上記と同じ要領で平置きしてください。
- ・商品のオモテ面は擦り傷や汚れが付きやすくなっております。手袋を着用の上、慎重にお取り扱いください。

② 下地の確認

- ・適用下地に相当する下地であることを確認してください。
- ・下地が平坦、平滑（1 mm / 2m 程度）で、よく乾燥していることを確認してください。
- ・ゴミ、ホコリ、油分、錆、塗料などが取り除かれていることを確認してください。

③ 割付

- ・割付図に従い墨出しを行ってください。
- ・目地幅を細くする場合は、床・壁・天井・開口部周辺、仕上げの切り替わりの取り合いや 10 m²を超える壁面には、必ず収縮調整のためのクリアランスを設けてください。
- ・1 枚ごとに色・ツヤ・表面の特徴が異なります。仮並べを行うなどして、最適な配置を検討の上、施工を進めてください。



④ 切断

- ・割付に応じて必要な切断加工を行ってください。
- ・電動丸鋸やディスクグラインダーを用い、乾式切断用ダイヤモンドカッター（ウェーブタイプ又はセグメントタイプ）を使用して切断してください。
- ・刃は商品のオモテ面から入れてください。
- ・切断作業は、防塵対策を十分行い、保護具の使用や安全な取り扱い方法を順守して行ってください。



⑤ 接着剤の塗布

- ・気温が5℃～35℃の環境で塗布してください。気温と張り付け可能時間、硬化時間の目安を確認してください。
- ・接着剤メーカーが定めた標準使用量を下地全面に塗布し、クシ目ゴテを使用して、均一にクシ目を立ててください。（3mmクシ目又は目地埋めする場合は5mmクシ目平押さえ）
- ・点付け施工、部分接着施工は不具合の原因となりますので行わないでください。
- ・一回に塗布する面積は接着剤メーカーが定めた張り付け可能時間内に貼り付けが完了する面積としてください。



⑥ 張り付け

- ・商品はオモテ面とウラ面があります。平滑な面がオモテ面になります。
- ・クシ目を立てた後、すぐに貼り付けを行い、張り付け可能時間内に張り終えてください。
- ・もみ込むように張り、商品の裏面全体に接着剤がなじむように十分圧着してください。
その際、接着剤の粘度と目地幅によっては、接着剤がはみ出しやすくなりますのでご注意ください。



- ・オモテ面に接着剤が付着した場合は、接着剤が硬化する前にふき取ってください。
- ・適宜裏面の接着剤付着が十分であることを確認してください。
- ・目地埋めする場合は、1成分系シリコン系シーリングをご使用ください。
- ・目地埋めする場合は、接着剤メーカーが定めた硬化時間を参考にして、接着剤が完全に硬化してから行ってください。

⑦ 養生

- ・施工完了後、接着剤硬化のために夏期は1日以上、冬季は3日以上外力が加わらないようにしてください。
- ・商品の表面は、傷つきやすくなっております。工事完了まで表面の保護養生をお勧めします。

⑧ 補修と日常のお手入れ

- ・専用の補修材、補修用塗料等のご用意はありません。
- ・日常のお手入れは、柔らかい布による軽い乾拭きを行ってください。
- ・強く擦ったり、たっぷり水分を含んだものを使用することは避けてください。

⑨ その他ご注意

- ・接着剤の使用方法及び取り扱いの注意事項を必ずご確認ください。
- ・万が一水にぬれた状態になっている場合は、直接皮膚に長時間触れたり、触れた手で目を触ったりしないようにしてください。
- ・廃棄の際は、一般のコンクリートと同様の処理をしてください。
- ・その他ご不明な点がございましたら営業担当者にお問い合わせください。

NISSIN EX.

株式会社 ニッシンイクス
www.nissin-ex.co.jp

本 社	山口県周南市鼓海 2-118-63
東 京 支 店	東京都港区赤坂 1-3-6 赤坂グレースビル 5F
大 阪 事 務 所	大阪府大阪市中央区南船場 3-8-7 三栄ムアビル 503
福 岡 事 務 所	福岡県福岡市博多区博多駅東 1-16-8 IT ビル 4F

〒745-0814	TEL 0834-36-1700	FAX 0834-36-1711
〒107-0052	TEL 03-5573-9177	FAX 03-5573-9179
〒542-0081	TEL 06-4708-4711	FAX 06-4708-4722
〒812-0013	TEL 092-409-2410	FAX 092-474-7002